

令和4年度第2回 茅ヶ崎市スポーツ推進審議会会議録

議題	1 議題 (1) 「茅ヶ崎市のスポーツ推進における基本的な考え方」の一部訂正について (2) その他
日時	令和4年3月29日(水) 19時から20時30分まで
場所	茅ヶ崎市総合体育館2階 第1会議室
出席者氏名	(委員) 佐藤会長、五反田副会長、鈴木委員、赤池委員、長田委員、山田委員、 本間委員、小崎委員、安武委員、中澤委員 (事務局) 佐藤課長、大久保課長補佐、松本課長補佐、鳥海副主査
会議資料	1 次第 2 資料1 令和5年度スポーツ関係当初予算予定 3 資料2 ホームタウンチーム関連資料 4 資料3-1 令和4年度体育協会総合体育大会 5 資料3-2 令和5年度茅ヶ崎市総合体育大会 6 議題1資料 茅ヶ崎市のスポーツ推進における基本的な考え方 (改訂案)
会議の公開・ 非公開	公開
非公開の理由	
傍聴者数	0名

(会議の概要)

○事務局

定刻になりましたので、これから始めさせていただきます。皆様こんばんは。本日は、お忙しい中お越しいただきまして誠にありがとうございます。本日はよろしくお願ひ致します。

会議に入る前に、今年度のスポーツ関係の事業について、主だったものにつきまして、ご報告をさせていただければと思います。

年度初めから、総合体育館につきましては、その前の年の地震の関係で、天井落下に伴う撤去工事を行い、ほぼほぼ3ヶ月間体育館は使えないような状況でございました。

さらに、次年度からの空調等の工事についての設計業務委託を行い、工事に向けた準備をしているところでございます。

また事業関係におきましては大きなイベントといたしまして、コロナの関係で1年延期になりましたが、11月12日から15日までの4日間、全国健康福祉祭、いわゆる「ねんりんピックかながわ」が開催されまして、本市につきましては、サーフィンとグラウンド・ゴルフが行われました。天候の関係で、サーフィンなどは波の状況がありましたので、少し難

儀をしたところがございましたが、全国から選手の方集まっていただきまして、無事に実施することができました。

また同じく11月には、4年度の新しい試みといたしまして、2市1町で、ちがさきスポーツキッズフェスタを、柳島スポーツ公園で実施いたしました。茅ヶ崎がホームタウンになっております、サッカーと、バスケットボール、フットサルそれぞれのプロチームの方々を中心に来ていただきまして子どもたちへの教室を開催したというところでございます。

12月には、市の主催ではございませんが、湘南国際マラソンが3年ぶりに実施され、運営手法などをリニューアルしながら、多くの方に参加していただきました。スポーツ推進協議会皆様には、お手伝いをいただきました。

それから1月9日には、こちら3年ぶり開催ということで、高南一周駅伝が実施をされました。71チームが参加し、お天気に恵まれまして、3年ぶりではございましたが無事に開催されました。

2月には、神奈川県各市町村対抗の神奈川駅伝が実施予定でございましたが、直前の降雪の影響で中止になりました。

それから地区別親善のニュースポーツフェスティバルとファミリーバドミントン大会が、それぞれ2月と3月に実施をされました。

コロナ禍の中で、手探りの状態でイベントが少しずつ開催をされたという年でございましたが、次年度におきましても引き続き、本市のスポーツ推進に向けて、進めてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いしたいと思います。

それでは前置きが長くなりましたが、本日の配付資料を確認させていただきます。まず本日の会議次第が1枚。茅ヶ崎市のスポーツ推進における基本的な考え方(改訂案)、それから、今日もお配りしておりますが、皆様方に郵送でお配りしております、令和5年度スポーツ関係予算(資料1)、日本女子フットサルリーグの参入のお知らせ(資料2)、令和4年度及び5年度の総合体育大会の開催関係の一覧(資料3-1、3-2)です。よろしいでしょうか。

○事務局

本日につきましては、学校関係の校長先生お2人欠席ということでございますが、8名の委員に出席いただいております。茅ヶ崎市スポーツ推進審議会規則第五条第1項を満たしておりますので、会議が成立していることを御報告いたします。また本会議の内容は公開となります。また市役所の市政情報コーナーに会議録を備えて閲覧にするとともに、ホームページで公開させていただきます。なお本日傍聴の方はおりません。

それでは茅ヶ崎市スポーツ推進審議会規則第5条第1項に審議会の会議は会長が招集しその議長となるとされておりますので、これより先につきましては佐藤会長に議事の進行をお願いしたいと思います。

佐藤会長よろしくお願い致します。

○佐藤会長

それでは議題1、茅ヶ崎市のスポーツ推進における基本的な考え方の一部改訂について、事務局より説明をお願い致します。

○事務局

茅ヶ崎市のスポーツ推進における基本的な考え方の改訂につきましてこれから説明させていただきます。

この考え方は、茅ヶ崎市スポーツ推進基本計画に変わり、茅ヶ崎のスポーツ推進における基本的な考え方を示したもので、令和3年3月に策定されました。今回の改訂につきましては、策定から2年を経まして、当時開催予定等となっていた事業などについて、内容の更新を行う必要がある箇所、また、実施計画2025という本市の新たな計画が策定されたことにより、課として、新たな事業を実施していくため、それらの計画の反映したものにすることを目的にしたものでございます。

実施計画2025では、茅ヶ崎市の新たなスポーツ推進の基軸として、次世代育成という

ことを掲げさせていただいており、この考え方を追記した内容になっております。また、スポーツを、する人・見る人・支える人という視点に着目しまして、次世代を担う子どもたちを育む、好環境を生み出すスポーツ推進のあり方につきまして、新たに図を掲載しております。

こちらの考え方というのを踏まえまして、次の7ページになりますが、考え方の体系というのが載っております。これまでここには、「する・見る・支える」の部分についての、次世代育成についての記入がなかったのですが、新たにすべての部分が、影響があるものとして加えさせていただきまして、従来の考え方にございます、基本方針1から3というものを推進していくという考え方になっております。

今回こちらに関しましてご意見をちょうだいしたいと思っておりますが、足りない部分につきましては、4月の14日を目途に、ご意見がありましたら頂戴できればと思っております。

○佐藤会長

考え方の改訂ってというのは、これが付け加わったということですね。

○事務局

はい。具体的に付け加わった図というのがこの6ページにございます。「する・見る・支える」が作る次世代育成の考え方という、まずこの図を加えました。と申しますのも、これまでは次世代育成って部分があまり押し出されていなかったのですが、今回の総合計画及び実施計画の中で、特に茅ヶ崎市のスポーツ推進として次世代育成に力を入れていこうということになっておりますので、新たな考え方としてこちらの次世代育成をイメージしたものを入れさせていただいています。

○佐藤会長

ありがとうございます。

○佐藤会長

他にご質問等ありますか。

○五反田副会長

2年前に、今の茅ヶ崎市のスポーツ推進における基本的な考えが発表されたわけですけど、それまでの10年間に茅ヶ崎市スポーツ振興基本計画があつてそれを引き継いでということと、それまでの10年間は具体的に数値目標云々という形で、今までやってきて、それから2年前にちょうどコロナの関係があつたというようなふう理解しています。

基本的な考え方を出して、あと、コロナが落ち着いたら、具体的な活動を数値化、まあどういふ形で出すのかわからないけど、出す方向という形で、今回がそのコロナを、もうある程度収束したというふうな位置付けでこれできたのか、2年前のそれをちょっと修正したものなのかわからないのですが。

○佐藤会長

事務局いかがですか？

○事務局

今、五反田委員からお話ありましたが、現時点ではこの基本的な考え方が作られて以降、コロナでいろいろ事業もストップしたりということがありました。それに加えて、ご説明いたしましたが、市の全体の計画も、休止をされていた部分のございます、それが令和5年度から新しい実施計画が始まるということのございます。

この中のいろいろな市の全体事業を踏まえまして、スポーツにつきましては、これまでの市の基本的な考え方にプラスアルファをして、次年度以降におきましては、それに加えて、

スポーツを通じて、今少子化という風にも言われておりますけども、次世代の子どもたちを育成していく、力を入れていく必要があるだろうと。その辺は市長の考え方にもありまして、市としても、次世代育成に、スポーツの分野に限らず進めていくという方向が、示されているというようなことでございますので、これまでの考え方の中に、次世代育成とそれからスポーツの循環というようなところの考え方を入れさせていただいたということでございます。

指標につきましてはやはりこれは経年的に見ないといけないところがありますので、令和5年度以降、またいろいろ活動が復活していく中で、指標的なものも入れていきたいというふうに考えております。

○五反田副会長

今、説明のありました、コロナ禍の中でできなかったっていう部分、そして、その以前まで出来ていたものを踏まえながら、今後その辺をぜひ、計画・立案の方向で持っていただければありがたいと思います。よろしくお願いします。

○事務局

この後またこちらの考え方も踏まえて、5年度の予算の中に、復活する事業でございますとか、新規事業もございますのでその辺のお話しもこれから差し上げたいと思います。

○佐藤会長

他にございませんか。それでは冒頭の説明にもありましたように、4月の14日までに何かありましたら、事務局の方に連絡を頂ければと思います。よろしくお願いいたします。それでは本件につきましては、委員の皆さんのご意見を踏まえて改訂を進めていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。次にその他につきまして事務局より説明をお願いいたします。

○事務局

ではまず初めに令和5年度スポーツ関係予算についての説明をさせていただきます。

今回は組織の再編のため、スポーツ推進課の所属が新たに来年度より、これまでの文化生涯学習部から文化スポーツ部になることで、若干の変更がございました。これまで民生費というところにいつも入っていた経費が、今後は総務費というところに異動となります。また予算の名称につきましても、より今の事業の実施の内容に即したような形で変更をさせていただいております。

さらに実施計画で位置付けられている新規事業の予算が計上されたほか、新型コロナウイルス感染症の感染防止のために実施していなかった夜間照明事業や学校プール開放事業についても計上をしております。

(以下、科目ごとに説明)

○佐藤会長

説明がおわりました。ご質問はありますか。

○五反田副会長

一点ちょっとお聞きしたいんですが、体育館管理運営経費が、令和4年度と5年度で金額が4倍ぐらいになっているんですけど。この理由はなんですか。

○事務局

こちらは旧体育館と総合体育館に関する経費ですが、令和5年度の秋口から予定しております総合体育館の改修工事に係る経費が含まれております関係で、金額が大幅に増えております。

○五反田副会長
わかりました。

○佐藤会長
他によろしいですか。それでは次の案件についてご説明よろしく申し上げます。

○事務局
続きまして、ホームタウンチーム関連につきまして説明いたします。
茅ヶ崎市をホームタウンとするチームにつきましては、現在サッカーの湘南ベルマーレ、バスケットボールの湘南ユナイテッド BC、そしてフットサルのアニージャ湘南の3チームがございます。うち、昨年新たにホームタウンチームとなり、B3リーグに所属している湘南ユナイテッドにつきましては、今年の2月24・25日と3月3日・4日に市総合体育館でホームゲームを開催しました。各試合共に多くの市民にご来場いただき盛況でした。
また、同様に今年度よりホームタウンチームとなりましたアニージャ湘南につきましては、同じくホームタウンとなっている寒川町の体育館で昨年の10月9日にホームゲームを開催しています。なお、アニージャ湘南につきましては、来シーズンよりトップリーグに昇格することが決まっております。以上でございます。

○事務局
補足をさせていただきます。
ホームタウンの関係でお話しありましたが、今年バスケットの方が、B3リーグということで、茅ヶ崎の総合体育館が公式試合の会場になりまして、多くのお客様に来ていただきました。先程考え方の中でも触れましたが、プロチームの試合を身近で見ていただくことで、そこから支えるようなところを広げていけたらと考えております。スポーツの裾野を広げるという意味でも、見ることからスポーツを始めるきっかけになることを想定して進めてまいりたいと考えております。

○佐藤会長
ありがとうございました。他に質問等なければ次の説明をお願いいたします。

○事務局
令和4年度及び5年度の総合体育大会につきまして説明いたします。
令和4年度につきましては、総合体育大会を茅ヶ崎市体育協会の主催として開催していただきました。開催状況につきましては資料3-1のとおりとなります。
また、令和5年度につきましては、令和2年度までと同様に茅ヶ崎市主催として開催する予定となっております。資料3-2につきましては、優先予約の状況などから、3月6日時点の状況を記載しております。5年度からは進め方が令和2年度とは若干異なり、3・4年度と同様に、参加募集から当日の大会運営までを体育協会に委託する形で事業を進めていくこととなります。今後、体育協会や各種目協会と細かく連絡をとりながら、事業を進めてまいります。
以上です。

○佐藤会長
ありがとうございました。他に御質問等なければ次の説明をお願いいたします。

○事務局
続きまして総合体育館の改修工事についてご説明させていただきます。
体育館の工事につきましては先日の第1回市議会定例会におきまして、令和5年度の予算が承認されたことによりまして、工事が来年度実施されるという形になります。事業者の選定につきましては、4月から事業者選定に入りまして、6月頃に事業者が決定する予定とな

っております。9月の議会で承認をいただいて、そこで正式に契約という形になりまして、10月から工事を開始する予定となっております。

予算の金額といたしましては令和5年・令和6年の2ヵ年での工事の実施となりますので令和5年が約5億円、令和6年度が8億8000万円、合計で約13億8000万円の大規模な改修工事になります。

工事の内容につきましては、第1体育室・第2体育室、柔剣道場への空調設備の設置。また、3ヶ所の照明のLED化、トイレの改修、エレベーターの改修となります。空調設備の設置に伴いまして第1体育室につきましては、床と天井の改修工事を行います。第2体育室と柔剣道場につきましては、床の改修工事をあわせて行うこととなります。

空調設備につきましては従来より要望もあったというところですが、猛暑による熱中症対策というのがやはり一番の理由でございまして、利用者の安全性及び利便性の向上というのを図るものとなります。

照明のLED化につきましては、今既存の水銀灯につきまして、もう製造自体が大分減少して、在庫がなくなっているという状況です。将来的にはもう水銀灯はなくなるということもありますのでこの機会を捉えまして更新をしていくものです。また、天井の工事も行いますので、合わせてやることによって費用も抑えられるということもございまして。水銀灯はかなり電気使用量の多い照明になりますので、それがLEDに変わることによって、電気の使用量自体が大幅に減ることも想定しております。

続きましてトイレの改修につきましては、洋式に統一するとともに、清掃等考えて今床がタイルなんですけれども、乾式という形で、どちらかという本庁舎のトイレに近いような形で改修するようなことを、今イメージしていただければ一番わかりやすいかなと思います。

エレベーターにつきましては開館当初からのものとなっております、30年以上経過しているということもございまして、部品の供給が難しくなることも想定しております。また、ストレッチャーですとか、車椅子が中で転回できるような形で、カゴを広げるような改修を予定しております。

また、災害時に指定福祉避難所に指定することを想定しておりまして、要支援者を受入れる体制を整える工事も併せて行うよう予定しております。

工事期間につきましては、令和5年10月から令和7年3月までの1年6ヶ月を予定しております。まだ事業者は決まっておりませんが、現時点では、完全クローズする予定で進めております。代替施設が少ない中で長期間閉めるということで、利用者の方にはご迷惑おかけすることにはなりますが、体育館全体の安全性、利便性の向上、また災害時の要支援者の方の避難所となることを想定していますので、利用者の方には丁寧に説明させていただきながら、ご理解いただけるような形で進めていきたいと考えております。

説明は以上となります。よろしく願いいたします。

○佐藤会長

ご説明が終わりました。何か質問はございますか。

○五反田副会長

工事の内容は今、概略説明があったんですけども、工事期間が本当1年6ヶ月と非常に長いので、業者さんが決まったら詰めていただいて、工期短縮や部分開放ができないかとか、その辺もぜひ検討していただきたいなと思います。

○事務局

議会でも、答弁させていただいているんですが、やはり皆様、工事期間について、懸念されているところがございますので、今、五反田委員からお話があったように、まだ工事業者が決まっておりますので、具体的な工程が出てきた段階で、柔軟な対応ができるように話をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いしたいと思います。

当初は空調工事だけと思われている方が、空調工事でなぜ1年半かかるというようなお問い合わせが体育館にもあるのですけれども、今、ご説明させていただいたとおり、スポーツ

利用者に加えて、福祉避難所というような機能を持たせるということでございますので、空調だけではなくて、アリーナですとかそれからトイレ、電気というようなかなり大規模改修となることもありますので、その辺も丁寧に説明させていただきたいと考えております。また代替施設にはこういったところもあるというようなところもご案内を差し上げながらご説明させていただきたいと思っております。

○安武委員

工事個所についてですが、トイレとロッカー室とかシャワー室を一緒にやるんですか。

○事務局

今回は、トイレのみです。今回の工事には入っておりませんが、今後改修ができれば行いたいと考えております。

○安武委員

そうですね。どうせやるなら一緒にやってほしいというのは正直ありますけど。

○事務局

市の方もそういったご意見はあるというのもお伺いしていますので、できるだけ盛り込めることができるものについては盛り込んだ中で、新しい体育館としてまた皆さんにお使いいただきたいと考えております。

○山田委員

閉鎖中の代替施設を探るといようなご発言がありましたけれども、実際に可能性がある施設があるのでしょうか。

○事務局

そうですね。一番はやはり旧体育館が候補になると思われませんが、実際そこだけでは難しいので、既存の市内の施設の中で、どういったところが使えるか、体育器具を使う種目ですね、バスケットボールですとか、バレーボールの支柱を立てないとできないような種目などについては、出来る場所が限られてきます。旧体育館以外では、ハマミーナの体育室などもある程度の種目はできると考えています。また、公共施設としては、学校の体育館もございます。また、民間では松下政経塾の中に体育館がありまして、今までは企業さんの中だけで使っていたものですが、一般の方も使えるとのことを伺っております。また、軽スポーツなどにつきましては青少年会館ですとか、公民館の一番大きな部屋などはスポーツで使われておりますので、そういったところをご提示していきたいと思っております。

○山田委員

現在、使っている施設については、こういう所も使えますよってことでいいかと思うんですが、個人の対応では難しいので、やっぱり市とか教育委員会が交渉していただきたいと思えます。

○事務局

もちろん私共も、教育委員会をはじめとした方々にはお伝えをしながら、できる範囲でということになってしまうかと思いますが、対応させていただきます。

○佐藤会長

企業の体育館はどんなところがありますか。

○事務局

今ご紹介したのが汐見台の松下政経塾ですが、そこにテニスコートと体育館がありまして今までは塾生さんとかそういった方々向けに使っていただいていた施設を一般の方にも開放するというお考えがあるようです。

○五反田副会長

近隣市町の施設についてはいかがでしょうか。

○事務局

広域利用ということで、2市1町につきましては利用ができるということになっておりますので、こちらから平塚・寒川・藤沢につきましては、こういった工事の状況があるというのもお話しをしております。なかなかそこまで行くのも大変な部分もあると思うんですけど、五反田委員がおっしゃったように2市1町についてもお話ししていきたいと思っています。

○佐藤会長

他に何かありますか。

○山田委員

もう一点。いいですか。空調の工事は夏の暑さ対策というのがメインだと思うんですけど、冷房ということですよ。冬場の暖房も使えるんでしょうか。

○事務局

はい。大丈夫です。冷暖房に対応します。

○山田委員

すごいですね。冷暖房完備になるんですね。

○事務局

スポーツ施設ということですので、種目によっては風の影響があります。特に卓球やバドミントンなどについては、風が出るタイプの空調施設ですと競技に影響があるのではないかとということで、実際に施工した施設を視察させていただきました。形式としては輻射（ふくしゃ）式というのでしょうか、イメージとしてはオイルヒーターのようなものをイメージしていただければと思いますが、細かい管の中に冷水ですとか温水を通してそこから出る熱とか熱を吸収する仕組みです。そういった風の出ない静かな、また経費的にもランニングコストとしても優れているタイプを入れようと考えています。

○山田委員

ちなみに近隣の市町村でそのシステムを入れている体育館があるのですか。

○事務局

磯子区の体育館になります。真夏の本当に暑い時期に視察しましたが、体育館はやはり広い空間ですので、冷暖房の効率ってかなり悪いのではと思っておりましたが、かなり涼しい状態でした。これであれば、「入れたけど、効かないじゃないか」ってことは、多分ないのではと感じました。また、風が出ない形になるので基本的にはどの競技にも影響はほとんどないかなと思います。

○事務局

一般の方の利用についてもそうなのですが、先ほどお話ししたプロスポーツにですね、公式試合として使っていただくにあたって、空調設備の有無でできるかどうかということに

なりますので、空調工事が終われば先ほどお話ししたプロスポーツのチームの方にも気持ちよく使っていただける、今まで使えなかった、やろうとしても出来なかった公式試合が茅ヶ崎でもできることになろうかと思っております。

○佐藤会長

電気代は心配ないですか。

○事務局

今回工事の空調装置の熱源はガスになります。ガス代は今までほとんど使ってないので上がるものと思いますが、照明をLEDに交換しますので、トータルの光熱費としてはまだ想定なんですけど、おそらくそこまで上がらない、逆に下がるのではと思います。今体育館の中で、第1体育室・第2体育室の照明が電気代の大部分を占めておりますので、LED化すればかなり減るのではないかと思います。

○佐藤会長

他によろしいでしょうか。それでは次の案件についてよろしく申し上げます。

○事務局

では最後の報告になりますがお話しをさせていただきたいと思っております。

第1回審議会の時にも少しお話をさせていただきましたが、中学校部活動の地域移行のその後の進捗についてでございます。

6月にスポーツ庁と文化庁からそれぞれ提言が出まして、それを受けて本市だけではないんですが、こういった形で自治体が受け入れていくか、というお話しが全国的な規模で話されている中で、茅ヶ崎についてはどうしていくのかというのが市議会の方でも、何人かの議員の方からご質問を受けるようなことがございました。まず庁内において関連がある、部局で、課題等を含めてお話しをしていきたいと思いますということで、今年度につきましては企画部とですね、それから私共、文化生涯学習部スポーツ推進課と文化部も関係ございますので文化生涯学習課、それから教育委員会の学校教育指導課、学務課、教育総務課というような関連課が検討組織を立ち上げてまして、これまで協議を重ねてきたということでもあります。

茅ヶ崎市の現状としましては、少子化ということもありまして、皆様もご存知の学校もあると思うんですが、学校によっては、合同チームを組まないとならぬ部活が成り立たないといったところでございますとか、それから、もう来年度から廃部になると、野球部が廃部になるといような学校もございます。野球部だけではなくてソフトボールとかですね、サッカーについても一部の学校については、子どもたちが集まらない、指導者がなかなか難しいということで、廃部になるといったような状況でございます。

生徒数の減少ということと、学校でできないお子さんについては、クラブチームの方にも参加するというような中で、部活動じゃない競技とかをやっているというような子もいらっしゃるというようなことで、部活自体の存続も少し危ぶまれているというような学校現場の状況ということでございます。

また、顧問の先生についても学校教育指導課でアンケートを実施したということなんですけど、部活動指導がやはり教員の長時間労働の要因の一つであるというようなことも言われている中で、実際に部活動の指導をしたいかというようなアンケートをとったところ、ほかの市町村も同じ割合のようですが、6割以上の先生が指導したくない、どちらかといえば指導していきたくない、指導をしたい、どちらかといえば指導したいというような先生方が約3割というような状況であるということでございます。

受け皿となりうる団体としまして、スポーツ団体、文化活動団体が考えられますけれども、やはり各種目によって構成人員の規模に差があったり、団体の中でもやはり担い手の高齢化ですとかそういったものも進んでいる、「子どもを教えるのに何かその指導・資格的なものがないといけないのではないか」といような懸念もあるということもございます。こちらについては、スポーツ団体、文化活動団体にかかわらずなかなか実際に始まったときに受け

入れられるのかというようなことも現状としてはあると思われます。

もちろんそういった団体以外のスポーツクラブさん、民間でやられている方々などについても対象になってくると思いますが、そういった方々も果たして今回移行した後にビジネスとして成り立つのかということもあるのではないかと思います。

国の動向につきましては、今年度の6月にガイドラインが出て、進んでいるところですが、全国的にも茅ヶ崎と同じような、やはり受け皿ですとかそういったものが、なかなか全てすぐに移行というのが難しい状況のようですので、国の方も進めてはいくけれども、少しそのスピードが、各自治体に合わせてというような形に言い方が変わってきて、方向性も今の時点でまだなかなか予算的な部分も含めてははっきりしないというようなところの現状ではございます。

将来的には、子どもたちが将来にわたってスポーツ・文化・芸術活動に継続して親しむことができる環境というのを、地域として作っていくということが最終的な着地点だと思うんですけども、そこに至る過程で段階的にどうやって進めていったらいいのかという所が非常に大きな課題ではないかなと思っています。

それでは市としてはどうしていくのかっていうところですけども、今現在部活動は、完全に学校の先生だけが指導している状況ではなくて、部活動指導協力者という方が市内で50人ぐらいいらっしゃるそうです。

そういった方々に、今までは休日の大会とか引率ができないというような状況があったということのようですので、そういった方々にそういう権限を与えながらできるだけ先生の手から離れるような形に進めていけるのかなと思います。

最終的には地域で受け入れるような形がとれるのが理想なんですけども、ちょっとそこまですべて国の意図しているところにたどり着くまでにどれだけ時間がかかるのかなというのが、各方面意見が出ているところでもございまして、今年度につきましてもそういった課題ですとか、どういう風に段階的にやっていくのかということについて話をしたということでもございます。

次年度につきましては、教育委員会が主に取りまとめをしながら、実際の学校現場の先生方とかスポーツ、文化活動団体の方々などからもヒアリングをしたりしながらお話を進めていきたいということが現時点での進捗状況でございます。またこれからはかなり大きく動くということはないとは思いますが、地域の方々ですとか、団体の方々のお話し、学校現場のお話しもお聞きしながら、茅ヶ崎としてはどういう風な形が一番いいのかということを作り上げていくような方向になると思っています。

○佐藤会長

今ご説明していただきましたけど、何かありますか？

○五反田副会長

前回、中体連の方で、そういう話が出ても、具体的にまだ全然学校の現状はそういう話がないとのことでしたが、その後先生たちの方を、何かこうまとめてっていうか、そういう話しを持ちながら、何か具体的な動きというのはあったのでしょうか。

○事務局

学校現場の方も、先ほどお話しした国の考え方もまだということもありますし、神奈川県も音頭を取りつつという段階でありますので、なかなかこれだという一つのパターンが各自治体によっても、学校数が違ったりとか、学校現場での考え方もそれぞれですので、なかなか一つのモデルケースを作るのは難しいということだと思います。これから学校現場の方々も含めてお話しをしていくというような形になっていくのだと思いますので、学校現場の方は情報だけ先に来てなかなかこれからどうなるかというところで、今日は学校の先生方はお越しになっていませんけれども、6月の時に現場としては混乱しているということもお話しされてきましたので、実際にどういう方向性にもっていくかというのは、今まで庁内で協議をしてきましたけど、次年度については実際の学校現場のお話しも聞きながらやっていくという形になると思います。

○五反田副会長

国の方も、予算、一部予算やりながら、試験的にモデル校を決めて、そこで実施しながら問題点を探ってやっている状況みたいですけど。それを昨年ですか、県の方でちょっとそういう情報を集めた形でやったらいろいろやっぱり問題点が多すぎて、まとめられないような状況のお話をされました。

最終的には地域でということなのですが、県の方で別に決めたわけじゃないですけど、地域に任せても、やっぱりそれだけでは問題解決しないんで、地域と行政が一緒になって両方でタッグを組んでいかないと、これ地域移行というものなかなか進まないだろうみたいな話は、県の方からもありました。

○事務局

今まで学校の先生方にかなりご負担をしていただきながらやってきた部活動、教育的意義があった中で、先生のご負担をしていただきながらやってきたものということですけども、これからそこを少しずつ引き離して行って、まだ先生方の中には、それでもやるという方々もいらっしゃるの、学校現場のそういった先生方、それから地域の力、それから行政の力をうまく混合させていながら着地点を見つけいくというような多分作業になっていくのではないかなと思います。

○佐藤会長

なかなか前に進まないような状況ですね。

その後受け皿のクラブチームの大会参加だとか、そういうのを少しずつなんか進めているような状況です。ただ、例えば夏の大会でクラブチームが突然出てきたら、本当にいろいろご指導だとか組み合わせなんかの関係もありますから、春の大会からちょっと試しに入れてみようだとか、そんな形で今少しずつ少しずつ、動いているような状況です。急激にやっぱり変わるってことはなかなかないと思いますけども、少しずつ今改善されている状況なのかなと思います。

他に何か事務局の方、ありますか。

○事務局

(職員の異動及び事務所移転について説明)

○佐藤会長

そうすると今度会議なんかも向こうでやるが多くなりますか？

○事務局

そうですね。ただ本庁の会議室もなかなか取りづらいというところもありまして、打ち合わせなんかにつきましては総合体育館の会議室なども使いながらやっていく形になるのかなと思います。

○中澤委員

本庁3階に行った場合は、打ち合わせは7時（19時）からですか。本庁舎はセキュリティーの関係で、一般の方が入れない箇所があると思うんですけど。

○事務局

その点もいろいろ考慮して、会議はこちらで引き続きやるとかというようなことになるのかなと思います。

○山田委員

体育館の1階の空いたスペースはもうなくなるのですか。

○事務局

今指定管理者であります茅ヶ崎市文化・スポーツ財団が使っておられますので、その方々が今後使われることとなります。

○佐藤会長

その他、よろしいでしょうか。

○事務局

(令和5年度会議の予定確認)

○佐藤会長

どうも、ありがとうございました。以上をもちまして、本日のスポーツ推進審議会を閉会させていただきます。ありがとうございました。